

R7新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型TYPE 1 採択事業

介護認定業務のデジタル化

- ・ 担当部局：保健福祉部
- ・ 事業費 ：19,728千円
- ・ 内容 ：介護認定審査会ペーパーレス会議システム・介護認定訪問調査支援システムの導入

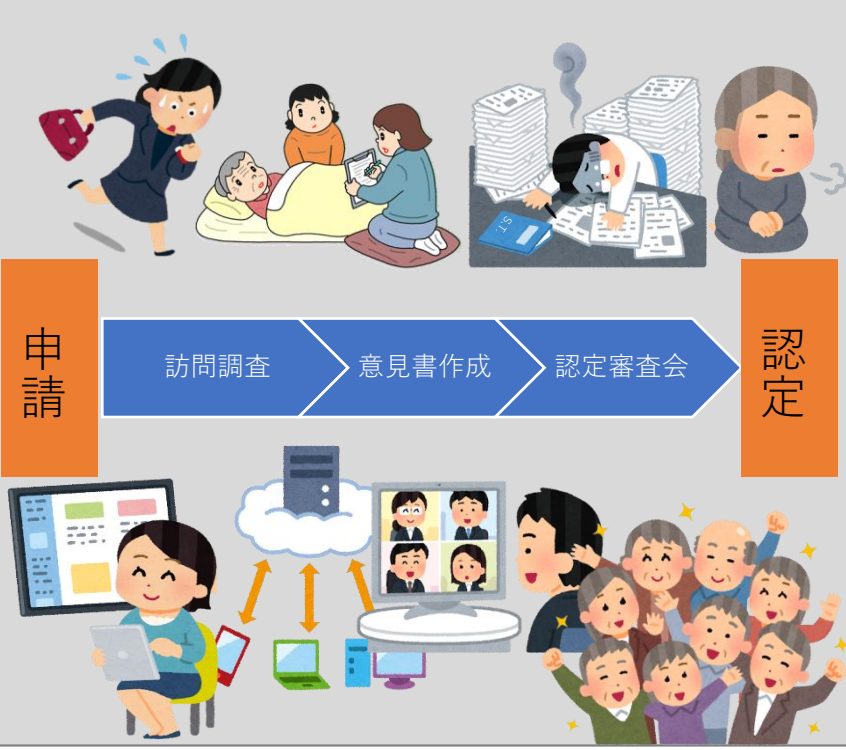
健幸アプリリニューアル

- ・ 担当部局：保健福祉部
- ・ 事業費 ：5,977千円
- ・ 内容 ：コンテンツの追加，機能改善，機能拡大

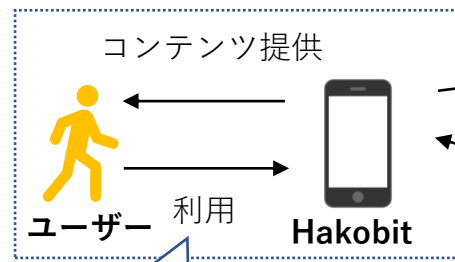

除雪業務管理システムの導入

- ・ 担当部局：土木部
- ・ 事業費 ：86,767千円 ※6月補正で予算要求
- ・ 内容 ：GPSを活用した除雪業務管理システムの導入による，除雪管理業務の効率化と除雪業務の適正化


事業概要【介護認定業務のデジタル化事業】

自治体名	北海道函館市	人口	236,774人	事業費	19,728千円
事業概要	本市の高齢化率および要介護（支援）認定率は全国や他の中核市よりも高く、調査員16人、審査会委員は115人で、令和5年度は18,685件の認定申請があった。今後も増加が見込まれる申請者に対し、持続可能な介護保険事業の運営を行う必要があり、認定調査業務と審査業務においてデジタル化を行うことで、業務の効率化および負担軽減に繋げ、地域課題の解決を図る。				
具体サービス	<div><div><div>【介護認定訪問調査支援システム】</div><ul style="list-style-type: none">システムにより申請者の住所等から調査の自動割当を行い、予定を効率化する。専用携帯端末の導入により、現地でシステムに入力することで作業時間の短縮とペーパーレス化を行う。システムの入力支援やエラーチェック機能により調査員ごとの差異の発生を防ぎ、調査を適正化する。既存システムとのデジタル連携により、結果判定までの時間を短縮する。<div>【認定審査会ペーパーレス会議システム】</div><ul style="list-style-type: none">タブレット端末に審査会資料のデジタル配信による提供により、資料のペーパーレス化および印刷製本に係る作業時間を削減する。WEB会議により審査会を効率化する。専用クラウド内での資料共有と使用后資料の自動消去機能によりセキュリティを確保する。</div><div></div></div>				
主なKPI	<div><div>【アウトプット指標（活動指標）】</div><ul style="list-style-type: none">①介護認定訪問調査支援システムを使用した調査件数②ペーパーレス会議システムによる認定審査会委員の年間参加人数③審査会委員のWEB会議参加人数<div>【アウトカム指標（成果指標）】</div><ul style="list-style-type: none">①申請から認定結果までの所要日数②認定結果延期通知の通知件数</div>				

事業概要 【はこだて健康アプリ～H a k o b i t ～リニューアル事業】

自治体名	北海道函館市	人口	236,774人	事業費	5,977千円
事業概要	本アプリは、無理なく自然に健康な行動をとることができるような環境整備を目的とし、令和4年度に開発され、現時点の登録数は16,000人を超え、当初の目標を達成したところである。しかし、リリース当初に比べ、アクティブユーザー数および平均歩数が減少傾向にあることから、他の自治体アプリの有用な機能を新たに実装することで、ユーザーの運動習慣の維持定着に繋げ、更なる市民の健康寿命の延伸を図る。				
具体サービス	<p>【はこだて健康アプリ～H a k o b i t～】</p> <p>他の自治体等のアプリ機能実装により機能を拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・ バーチャルウォーキング（熊本市，大分県） →アプリ上で、日本一周や東海道五十三次などの楽しみながら長距離歩行を促すことができるバーチャルコースを設定し、定期的な運動習慣を定着させる。・ 個別ユーザーへのお知らせ配信機能（愛知県） →お問い合わせ対応など、アプリ上でユーザーと事務局のやり取りをワンストップ化し、煩雑さの解消や、個人情報流出のリスクをおさえる。・ デジタルギフト等の配信機能（愛知県） →インセンティブをデジタルギフト化することで、配送コスト削減や、アプリ上での協賛イベント実施が可能となり、協賛企業側は自社PR機会の増加、アプリユーザーにとってはインセンティブの拡大につながることが期待できる。	<div><div><p>コンテンツ提供</p><p>ユーザー 利用 Hakobit</p></div><div><ul style="list-style-type: none">・ ウォーキング，健康づくりイベント（ミッション），チーム対抗戦，健康チェック，お知らせの閲覧等によりポイントを付与・ ポイントを使って抽選会に応募，当選者に景品をプレゼント</div></div> <div><p>データ蓄積 アンケート</p><p>管理システム</p><p>データ分析</p><p>事務局職員</p><p>新施策実施 既存施策改善</p><p>分析結果等を元に アプリをリニューアル</p></div>			
主な KPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none">①バーチャルウォーキングコースの利用件数②個別ユーザーへのお知らせ配信件数③個別ユーザーへのデジタルギフト等の配信件数④アプリダウンロード累計数	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none">①利用者満足度②年間平均歩数③年間平均アクティブユーザー数			

事業概要【除雪管理システム導入事業】

自治体名	北海道函館市	人口	236,774人	事業費	86,767千円
事業概要	<p>冬期間の市道除雪作業は除雪業者に委託しているが、除雪の状況は、各業者へ電話等により確認しているため、市内全体の除雪状況を把握するのに時間差があり、住民の要望・苦情に迅速かつ適切に対応できないことが課題となっている。除雪管理システムの導入により、主要な幹線道路の除雪状況をウェブサイトでリアルタイムに公表することで、市民からの問い合わせや要望への対応速度を高め市民サービスの向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>【除雪管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none">・公開サイト：市民向けに除雪車両の現在地、作業軌跡、降雪情報等を公開するサイト・地図サイト：除雪車両の現在地や作業軌跡、苦情要望、現場写真等を地図上で確認するサイト・管理サイト：作業実績の確認・修正、アラート確認、予算管理、各帳票出力等を行うサイト <p>【システム機能】</p> <ul style="list-style-type: none">・日常業務機能：作業状況確認、メッセージ送信、メール送信、降雪量入力・月次業務機能：月報出力、請求書出力・予算管理機能：予算額入力、各種帳票出力、雪寒指定道路積算・地図機能：作業軌跡参照・検索、苦情要望管理、現場写真管理		 <p>▲地図上に展開した作業軌跡</p> <p>▲公開サイトイメージ</p> <p>▲地図上に登録された現場写真・苦情要望</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①公開サイトアクセス件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①除雪関連の市民からの問合せ件数</p> <p>②除雪に関する市民満足度</p>		